「令和4年度に実施した仕事」の振返りシート(B: 裁量無・その他) 記入日 令和5年4月4日

	事業	(名称						担当	部署					טיייבו	, ,,,	
		· 保健事	業書					部			キいき(いき部	係			保健係
	_	問指導						課	\vdash	KE-		性進課			幸村	
					\) [i	ーおに	†る位:	<u>」 啐</u> 置づけ			ほんべい		M X L		7-1.	3 13 110
	-1.0.	施策1	1		•					うづくり)		第五次基	基本計画	51	ページ
		施策2) まちづ			第五次基			ページ
1	施	策	施策		_	1	<u> </u>	施策		_	1	重要施策	複数		<u>√</u>	
基本		1	✓	安心	<u>,して.</u>	 }ども				できる!!	 環境づく		重要	 施策	√	該当
情	展開	方向 2	V	子 ど	きもたれ		長と発	上 を す	 5援する	環境づく	<り		まち・ひと・総合戦略アク	・しごと創生 ションプラン		ページ
報		3	/	病気	の予覧	方及ひ	アリア	発見・ 5	早期治療	いために	の環境・	づくり	実施	計画	✓	該当
	₽₩	+4 壬 □Ⅱ	V	法定	受託	事務		市のぽ	実施が 義	務付けら	られてい	ハるもの	の し し 乗 し	せなし)		
	争未	種別		課内	庶務等	手		休止し	 したもの		廃止し	たもの)			
	予算	科目	会	計	_	-般会	計	款	4	項	1		1	事業	番号	3
	開始	年度				年度		√	不詳	行政執	報告書	289	ページ	新規•	継続	継続
	実施の法令・	の根拠 要綱等)	母子	保健	 法											
2事業概要	事業		サート	ビス提	是供を行	うい、 厚	関係機関	関との連	[絡調整を	が問指導を を行うなと 未熟児 、	ビ、継続	的な支持	援が必要な 援をしてい	- 家庭に対し る。	しては、	適切な
要•	対象	: 誰を、(何を対	象とし	ている	か							な状態にした			
自的	市に	居住する姉	<u></u> 迁産婦	. 新:	生児、:	未熟児	、乳幼	児等				及び新 をるよう	生児時期に にする。	おいて、	子育て家	家庭での
活動	活動内容:どのような手段で行ったのか 実績:事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか															
· 実 績	出生通知表を受理し、新生児訪問を実施していく。 母親が安心して育児にのぞむことができる。															
	事業	(のコス	 	実績)		単位	Ę	令和2年	度	4	令和3年	年度	<u>수</u>	3和4年	度
		事業	養費(実績	事)		円		21,30	7,678		19,6	616,264		18,0	30,367
	財	一般財源	₹				円			26,551			294,048			865,811
3	源	特定財源			•都•		円	<u> </u>	4,08	31,127		3,3	322,216		7,6	64,556
経		==== 1 1/4			益者負担	<u>1)</u>	円	↓		<u> </u>						
l	人	所要人数					人	<u> </u>		0.1			0.1			0.1
費	件費	所要人数					人田田	—	- 00	29.000			225,000			16000
	(目 #	職員人件					円田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	-		38,000			325,000			316,000
		職員人件 費+人作		井江川	<u> </u>		円円	├──	22.17	15,678		207	441,264		122	346,367
				理題,	レレル ニュナ	内容		12年度(;			塩活のシ		果題を転記)		10,0	40,001
		<u> 13和44</u> なし。	1 <u>V</u> (C)		_ 0,0	12 C	(1540	O+IXIC	- 大 ル しん	- 上尹」 v>1	水陸ウン	T TW	木だされません			
4		(1)の課題	題解》	夬にに	句けた	取組や	り事務に	火善な,	 ど、令和	 ∏4年度	に実施	したこ	ح			
課	課題	のある好	壬産婦	等の	対象者	を早	期に把	湿握でき	きるよう	に窓口対	対応した		 上通知票未	提出者に	こついて	は、母
題		帳交付情														
	(3)((2)を踏き	まえた	一分後	(0)課定	息(江	[事の) 雨	<u></u> 適化 •	台埋化	(0)提系)	※廃止	したもの	を除く			
		者の早期					継続し	、切れ	旧ない	支援に努	§める。 					
5	(1)	仕事の方	向性	、今往	後の取	.組 ;	※廃止し	たものを	主除く							
今後	出産	• 子育7	こ応援	事業	と抱き	き合わ	せで行	う事業	€ である	ため、円	9滑に事	⋾業を遂	遂行できる	ように努	§める。	
の方	(2)	上記の取	組に	あたり	り、 <u>克</u>	服す	べき問	題点、	必要な	調整・準	備等	※廃止し	ノたものを除	<		
向性	計開化浴をタップが充着の頂岸が保になる。カギ上がもれば、カギ笠を冷計していく											女善策を	<u></u> E検討して	にいく。		

	事業	名称			担当部署	署				107 (13 13	<u> </u>	
		· - - 保健事	 業費		部			幸いきい	いき部	係			保健係
			(1) (2) (1) 育児学級事業	等〕	課				生進課	課長名		 록	村有紀
			(輝きプラン) に							G-11-2			
		施策1	1 子どもたち			るまち	づくり)		第五次基	基本計画	51	ページ
1	基本	施策2	2 健康であた	たかい心	かのかよし	ハあう	まちこ	づくり		第五次基	基本計画	65	ページ
基	施	策	施策1 —	1 重要 施策	施策	2		1	重要施策	複数	施策	√	あり
本		1	☑ 安心して子	どもを生る	か育てるで	ことが	できる I	 環境づく	り	重要	施策	V	該当
情報	展開	方向 2	☑ 子どもたち	の成長と乳	発達を支持	爰する:	環境づぐ	くり		まち・ひと・ 総合戦略アク	しごと創生 ションプラン		ページ
		3	☑ 市民の自主	的・自発的	かな健康:	ブくり	の促進			実施	計画	✓	該当
	事業	種別	☑ 市単独	□ 補助	対象		市の実	施が義	務付けら	られている	るもの (.	上乗せる	あり)
	予算	科目	会計 一	般会計	款	4	項	1	Ħ	1	事業額	番号	3
	開始	年度		年度	✓	不詳	行政	報告書	289	ページ	新規・	継続	継続
	実施の 法令・		東大和市母子保健	法施行規則:	第3条の規	記定 — <u>—</u>							
2	事業	概要	妊産婦とその家族 また、育児中の仲 実施事業:両親学 会	間づくりの	機会の提供	共をはカ	いる。						
事	対象	:誰を、	何を対象としているた)\			目的:	対象をど	のような	状態にした	いのか		
業概要	妊婦な	とその家	族	_	_	_			出産、その後の育児についての知識を得る。 いして妊娠・出産・育児ができる				
•	活動	内容:と	どのような手段で行っ	たのか			活動実	績:事業	を実施し	た結果「対象	」にどのよう	うな変化が	があったか
目的・活	①両親 ②育児 ③すこ ④講演	見学級 こやか広場	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	イルカの会、	かんがるー	·の会)		寺期に同じ		5、不安の軽 出産、子育て			の交流の場
動			増加を目指す指	詳 単位	令和	和2年	度	f	3和3年	F度	令	和4年	度
実	☆ħE	中+匕+而	年度目標値	人	参加妊娠	帰の実数	女:90人	参加	_]妊婦の実	€数:90人	参加	妊婦の実	《数:90人
績	划末	果指標	効果実績値	人			48人			73人			55人
			目標値設定の考え	え方 両親	学級の対象	きとなる	市民がの	どれだけ	(人) 乽	多加できた	か。		
	事業	のコス	ト(実績)	単位	令和	和2年	度	f	3和3年	F度	令	和4年	度
		事業	(実績)	円	2	1,307	7,678		19,61	16,264		18,03	30,367
	B -/	一般財源	京	円		7,226				94,048		10,36	65,811
3	財源	特定財源	原 (国•都•代	- , -		4,081	,127		3,32	22,216		7,66	64,556
経			(うち受益者負担)										
	人	所要人数	数(再任用以外)	人			0.02			0.02			0.02
費	貫	-	数(再任用)	人									
	安		件費(再任用以外)	円		167	7,000		16	67,000		16	67,000
			件費(再任用) 	円	<u> </u>			<u> </u>			<u> </u>		
\sqsubseteq		養+人作		円	<u> </u>	1,474				33,264	<u> </u>	18,15	97,367
4 市	令和4	4年度中	に寄せられた市民・	議会等の意	意見 、 市民	・サー	ビス利用	目者等の等	実態やで	<u>*</u> の意識に*	ついて		
民等の意見	• 先輩	輩ママ、	パパとの交流や、氵	ホ浴の体験∜	等、アンケ	ートの	結果は高	事評価でる	あった。				

	市民	協働の国	取組		取組手	送:⑥、⑦						
5	□ 取り組んだ											
市		取り組ま	まない			E ∅夫仃安貝云・協議 現提供・情報交換(広幸						
民協	令和:	5年度に	向け、	さらI	こ適し	た協働の形態とするた	めに	「考え」「気付いた」点				
働												
	(1)3	効果指標			: この ⁻	1年間、事務事業を行った	こことに	こよる効果の変動はどうだったか)				
		向上	説明令和公		から引	き続き、感染症対策を	講じな	がら実施。各医療機関での教室も復活してきているから				
	✓	維持	か、	参加者	も昨年	度に比べると減少傾向]。					
		低下										
	(2)	費用対效			点:実	施方法などを見直して、	事業費な	や人件費を縮減することができたか)				
		向上		の市民			象とし	した事業であるため、来年度以降実施するにあたっても、今				
6	✓	維持	年度	司様の	事業費	と人件費が必要。						
分		低下										
析	(3)	指標の達	直成状	況の記	平価							
• 評		(2)	費用対	効果		成果ランク	成	A:効果指標・費用対効果が共に向上				
価	(1)		向上	維持	低下	(評 価)	果ラ	B:効果指標が向上・費用対効果が維持				
	効	向上	Α	В	D	_	ン	C: 効果指標が維持・費用対効果が向上				
	果 指 K 信 G (6下) F H D: 効果指標が向上・費用対効果が低下 E: 効果指標・費用対効果が共に維持											
	標 低下 F H I 明 F: 効果指標・費用対効果が共に維持											
	*						ك	F:効果指標が低下・費用対効果が向上				
						対効果が交わった い・休止を含めた	方向	G:効果指標が維持・費用対効果が低下 ※				
						止を検討する。	性	H:効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ I:効果指標・費用対効果が共に低下 ※				
	/ / \	1 str lut ≘it	1 Ι Ψ / -	L > I= #	* 		+					
	(4) %	別学性評			實用刈处	果の向上を図るにめに C 説明:	さるこ	とは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)				
		見直する		-		妊娠中3日間のコースる。	として	「いるが、当事業の目的を達成するためには必要だといえ				
					の影響		* 計画					
		大きい	<u>ш</u> О/	説明		画 (計画の)成無・お五次を	****	の記念を表別するための手段としてもんる。)				
	_	小さい				事業がないため。また くにあたり、必要な事		Gのニーズも高い事業であるため。市民が安心し、出産・子i Gるため。				
		不可能										
	(1)=	令和4年	E度に	課題の	トした	内容(「令和3年度に第	産施した					
								参加者数の維持、向上をはかる。				
7)連携方法を模索する		多加有数の維持、同上をはかる。				
課	(2)	(1)の課	題解》	夬に向	oけた!	取組や事務改善など、	、令和] 4年度に実施したこと				
題												
		参加者が 計した。	先輩で	7マと	してア	フタークラスに参加し	た際に	、、かるがも広場での実習についての感想をアンケートによ				
		染症対策	を講し	ごなが	ら事業	を実施。						
8	(3)(2)を踏	まえた	こう後	の課匙	夏(仕事の最適化・合理化	この提案	<u> </u>				
今		型コロナ 民ニーズ				分類変更後の事業の実 の展開	施方法	:の検討				
後		加者数の		KC (2)	こず未り							
の 方	(1)=	今後の耳	双組 (「6分	折・評値	ある 及び 7課題」を踏ま	えた具	は 体的な改革・改善案など)				
向性	・引続き、対象者への学級の周知、案内に努める。											

記入日 令和5年4月14日

	事業	美名称													
	成人	、保健事	業費			部		健⋾	幸いきい	き部	係			保健係	
	〔歯	科相談事	業(妊婦歯	科健康診査等	[)]	課			健康推	進課	課長名		幸	≥村有紀	
	総合	計画(輝きプラ	ン)におけ	ける位	置づけ									
	基本	施策	2 健康	であたたた	いたから	のかよい	あう	まちこ	づくり		第五次基	本計画	65	ページ	
1	施	策	施策2	– 1		保健、图	医療				複数	施策		あり	
基		1	☑ 市民	の自主的・	自発的	りな健康で	づくり	の推進			重要	施策	4	該当	
基本情	展開	方向 2	☑ 病気	の予防及び	早期発	発見・早期	治療	のための	り環境で	(くり	まち・ひと・ 総合戦略アク:	しごと創生 ションプラン	ページ		
報		3									実施	計画		該当	
	事業	種別	回 市単	独	補助落	対象		市の実	施が義和	努付け	られている	るもの (.	上乗せる	あり)	
	予算	科目	会 計	一般会	計	款	4	項	1		1	事業	番号	4	
	開始	年度	平成	24 年度			不詳	行政執	服告書	304	ページ	新規•	継続	継続	
		の根拠 要綱等)													
2	事業	概要	を提出し健	、実施歯科(診を受ける。 当日に実施(健診網	結果の判定	は、	「異常な	し」、「	要指導	」又は「要	精検」に	区分し、 行う	原則と	
事業	対象	:誰を、	何を対象とし	ているか				目的:	対象をど	のような	5な状態にしたいのか				
兼概要	妊婦	(原則妊	娠12~2	7週頃)							を持ち、ロ できるよう		アの習慣の必要性をる。		
•	活動	内容:と	ごのような手段	 没で行ったのた),			活動実	績:事業	を実施し	た結果「対象	」にどのよう	うな変化が	があったか	
目的・活	母子(る。	健康手帳	発行時に妊娠	婦歯科健診票	を全好	E婦に交付 [・]	ਰੁ	妊婦の	健康向。	上に寄 .	与した。				
動			増加を目	指す指標	単位]2年			3和3年	度	-	和4年	度	
• 実		D161#	年度	目標値	人	対: 2	象妊婦 .65 (婦数508 (50%)	対象妊婦数47 236(50%)			
績	划号	果指標	効果	実績値	人	182			20		0.2%) 166 (35				
			目標値設定	定の考え方	母子倪	保健手帳交	付者の	つうちのタ	壬婦歯科	健診者数	数が50%と	iくなるよ	こうにす	る。	
	事業	(のコス	ト(実績)	単位	令和]2年	度	Ê	3和3年	度	수	和4年	度	
		事業	美費 (実績	()	円	21	,307	7,678		19,61	16,264		18,03	30,367	
	1	一般財源			巴	17	7,226	6,551		16,29	94,048		10,36	65,811	
3	財源	特定財源	(国	•都•他)	円	4	,081	,127		3,32	22,216		7,66	64,556	
経	(うち受益者負担) 円														
	人 所要人数(再任用以外) 人							1			1			1	
費	件														
	(目∯	職員人作	‡費(再任用	円	8	3,380),000		8,25	50,000		8,16	60,000		
	安		‡費(再任用	3)	円										
		養+人作			円			7,678			66,264		26,19	0,367	
4 市	令和	4年度中	に寄せられ	た市民・議会	等の意	見、市民	・サー	・ビス利用	目者等の	実態やる	その意識に	ついて			
R															

	市民協働の取組	取組手法:⑤、⑥	
5	☑ 取り組んだ	【取組手法の種類】	
市	□ 取り組まない	①共催 ②実行委員会·協議 ⑥情報提供·情報交換(広報)	義会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 服媒体:)⑦後援・場の提供 ⑧その他()
民協	令和5年度に向け、さら	・ に適した協働の形態とするた	めに 「考え」「気付いた」点
働	特になし		
	(1)効果指標(評価の視点	京:この1年間、事務事業を行った。	とことによる効果の変動はどうだったか)
	□ 向上 説明: 参加者の大 ☑ 維持	大きな変動等は特になかった	
	(2)費用対効果(評価の複		事業費や人件費を縮減することができたか)
6	□ 向上 説明: 事業費の変 ☑ 維持 低下	変動等は特になかった。	
分析	(3)指標の達成状況の	評価	
•	(2) 費用対効果	成果ランク	成 A:効果指標・費用対効果が共に向上
評価	(1) 向上 維持		↓ 果
	効 向上 A B	D	ラ C: 効果指標が維持・費用対効果が向上
	果 指 ^{維持} C E	G	ク D: 効果指標が向上・費用対効果が低下 の
	標低下FH	1	│ 説 │ E:効果指標・費用対効果が共に維持
	*	•	明 F:効果指標が低下・費用対効果が向上
	(1)の効果指標と(2)(方 G:効果指標が維持・費用対効果が低下 ※
	ところが、G、Hのときり 要改革を検討し、I のと	は、縮小・休止を含めた きは廃止を検討する。	向 日:効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ 性 サー・サロック ファイス・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・
			' : 効果指標・費用対効果が共に低下 ※
		費用対効果の向上を図るためにて 説明:	できることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)
	□ 見直す余地がある □ 見直す余地はない	事業費を削減できる名	全地はない しょうしょうしょう しょうしょく しょうしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょくしょくしょく しょくしょく しょしょしょく しょくしょく しょく
	(5)休止・廃止した場合	今の影響(評価の視点:第五次基	本計画の施策を実現するための手段として考える。)
	☑ 大きい 説明		ができる環境づくりができなくなる。
	□ 小さい		
	不可能		
	(1)令和4年度に課題	とした内容(「令和3年度に写	実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)
7	受診者が向上するよう	努める。	
課	(2)(1)の課題解決に回	向けた取組や事務改善など	、令和4年度に実施したこと
題	両親学級にて、妊婦と	子どもの口腔保健について	に具体的な説明を行った。
	(3)(2)を踏まえた今後	後の課題(仕事の最適化・合理(との提案)
8			
今後の	受診者が向上し、口腔	空衛生を保つ重要性を認識す 	「もよっに努める。
の 方	(1)今後の取組(「6分	分析・評価 及び 7課題」を踏る	まえた具体的な改革・改善案など)
向性	妊婦だけでなく、これ もらうよう取組を行う		性のある方全てに、正しい口腔衛生についての知識を得て

「令和4年度に実施した仕事」の振返りシート(B: 裁量無・その他) 記入日 令和5年4月4日

													יםויכו		
	事業	名称					担当	部署							
	母子	保健事	業費				部		健:	幸いきい	いき部	係			保健係
	〔子。	どもの健認	診事業	 €3~4	か月児健診等	争〕	課			健康护	進課	課長名		幸村	す 有紀
	総合	計画(輝き	プラ:	ン)におけ	する位	置づけ	ţ							
	基本	施策1	1	子ど	もたちの領	き顔か	ずあふれ	ιるま ^を	5づく!)		第五次基	基本計画	51	ページ
	基本	施策2	2	健康	であたたた	つい ハワ	いのかっ	よいある	うまち:	づくり		第五次基	基本計画	65	ページ
1	施	策	施領	策1	- 1	重要施策	施	策2	_	1	重要施策	複数	施策	✓	あり
基		1	√	子どす	もたちの成長	と発達	を支援	する環境	づくり		100714	重要	施策	4	該当
本情	展開	方向 2	1	病気(の予防及び早	期発見	・早期	治療のた	めの環境	竟づくり		まち・ひと・ 総合戦略アク	・しごと創生 ションプラン		ページ
報		3	П									実施			該当
112			-	 法定		7	市の第	厚施が義	務付け	られてし	1るもの	<u>ーーーー</u> D (上乗も	はなし)		
	事業	種別			庶務等			ノたもの		廃止し					
	予算		会	計	一般会	<u></u>	款	4	項	1		1	事業	番号	3
	開始	年度			年度		7	不詳	行政	報告書	289	ページ	新規・	継続	継続
	実施の	つ根拠	□ -	- IO 17#	<u>+</u>										4-2-19-0
	(法令・		可丁	子保健											
2事業	事業	概要	の早	期発見	齢に応じて低 に努める。 a										
来概要	5 **	I#U S	行う。 実施	•	る健康診査	事業:(3~4か	月、1.	6か月、	、3歳児	、5歳リ	₹			
•	対象	:誰を、何	可を対	象とし	ているか				目的:	対象をど	のような	状態にした	いのか		
自的	年齢	に応じた	三乳纹	加,	迁婦				児童の	健やか	な成長	と保護者の	の不安の	軽減	
活	活動内容:どのような手段で行ったのか実績:事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか														
動・	検診の案内を送付し、集団健診を実施する。 検診未受診者に対しても、養育状況の把握に努め 原の健やかな成長や保護者の不安軽減に努めた。必要な														
実績	快部	不安認的	∃ICX!	1) C C	ひ、食用状	近り批	が経にき	50)	ケース	には、そ	の後の	支援を継続	した。		
1150	事業	のコス) (実績))	単位	Ť	6和2年	度	Ť	3年	 拝度	f.	3和4年	度
		事業	費	(実績)	円		21,30	7,678		19,6	616,264		18,0	30,367
	B→	一般財源	Į.			円		17,22	6,551		16,2	294,048		10,3	65,811
3	財源	特定財源	Į.	(国	•都•他)	円		4,08	1,127		3,3	322,216		7,6	64,556
経	////		(う	ち受益	者負担)	円									
		所要人数			外)	人			0.10			0.50			0.50
費	曹	所要人数				人									
	B	職員人件				円		83	8,000		4,1	90,000		4,0	80,000
		職員人件		再任用)	円		00.14	5.07 0		00.5				10007
		費+人作		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		円		22,14		157510		306,264		22,1	10,367
	(1)-	5144年	· 及に	·誅起C	こした内容	(行札]3年度[こ実施した	仕事」0.)振返りシ	ート 4 語	果題を転記)			
	特に	なし													
4	4														
課					ら、健診の									 続支援?	を実施し
題	た。	/5/((-2	J, <u>U</u> , U			<i>></i>	711202			, = 0 , 5 ,	~ 0.7	,, 5	2.0.0	707432	
起	(3)(2)を踏る	まえた	こ今後	の課題(仕	:事の晶	浸適化	• 合理化	の提案)※廃止	したもの)を除く			
	適切	な時期に	二該当	4者に	アプローチ	できる	るように	こ取り組	む。						
5	(1)	土事の方	向性	、今後	後の取組 ※	 ※廃止し	ノたものる	を除く							
今後	健診	の目的だ	が達成	なでき	るように、	継続し	ノて取り	2組んで	いく。						
の方	(2)	上記の取	組に	あたり)、克服す/	べき問	題点、	必要な	調整・⅓	集備等	※廃止し	ノたものを 防	 <		
つ向性		ナ感染症	上の欠		更後の健診	実施体	*制の見	直しを	行う。						
	4														

「令和4年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和5年 4月4日

	事業	名称			担当部署									
	成人	、保健事	業費			部		健量	幸いきい	おき部	係			保健係
	〔健	康相談	事業〕			課			健康护	推進課	課長名		幸村	有紀
	総合	計画(輝きプラ	ン)におけ	する位	置づけ								
	基本	施策	2 健康	であたたた), () (()	のかよい	ハあう	まちこ	づくり		第五次基	本計画	65	ページ
1	施	策	施策2	- 1		保健、	医療				複数	施策		あり
基本情		1	☑ 市民(の自主的・	自発的	な健康に	づくり	の促進			重要	施策	7	該当
作情	展開	方向 2	☑ 病気(の予防及び	早期升		旧治療	のための	の環境で	でくり	まち・ひと・ 総合戦略アク:	しごと創生 ションプラン		ページ
報		3	□ 地域	の医療体制	訓の確	E 保					実施	計画		該当
	事業	種別	市単	独	補助落	讨象	√	市の実	施が義	務付けら	られている	るもの (.	上乗せる	あり)
	予算	科目	会 計	一般会	<u></u>	款	4	項	1	B	1	事業	番号	4
	開始	年度		年度		✓	不詳	行政	報告書	304	ページ	新規・	継続	継続
		の根拠 _{要綱等)}	健康増進	法										
2	事業	概要		業、及び健康 業:生活習慣 健康相談				ヽ ルシー	教室、女 	性のい	きいき健康	教室、こ	ころの例	建康相
事業	対象	:誰を、	何を対象とし	ているか		目的:対象をどのような状態にしたいのか								
耒概要	おお	 むね40歳	えから64歳る	 までの市民				正しい; る。	JN知識の普及と健康の保持増進を自らできるように					
¥ • 🗏	活動	内容:と	ごのような手段	没で行ったのた),			活動実	[績:事業	を実施し	た結果「対象	」にどのよう	うな変化が	あったか
0的•活			齢測定、体約 衛生士、栄養	組成分測定、 養士の講話。	医師の)講話 、 運	動、	自ら健 健康維	康増進に 持に気を	取り組む つける。	むようにな ようになっ	:った。 た。		
動			増加を目	指す指標	単位	令和	02年	<u></u> 度	f	3和3年	F度	全	合和4年度	
· 実	4. h. c	D+15.+#	年度日	目標値	人			18			18			49
美績	幼5	果指標		実績値	人			18			49			18
			目標値設定	定の考え方	「生活	5習慣教室	の参加]者数」	を昨年度	の実績値	直よりも超	えるよう	にする。	
	事業	のコス	ト(実績))	単位	- 令和	02年	度	Ť	3和3年	F度	全	和4年	度
		事業	養 (実績)	円	3	33,20	6,147		45,2	46,289		42,0	70,042
	□→	一般財源			円	2	28,26	3,038		39,9	53,289		35,4	27,684
3	財源	特定財源	(国	• 都 • 他)	田		4,94	3,109		5,2	93,000		6,6	42,358
経			(うち受益	円										
	人	所要人数	故 (再任用以	人			0.1			0.1			0.1	
費	件費	所要人数	故(再任用)	人										
	○目録	職員人作	‡費(再任用	1以外)	円						25,000		8	16,000
	安	職員人作	‡費(再任用	1)	円									
	事業	費+人作	‡費 ————		円	3	4,04	4,147		46,0	71,289		42,88	36,042
4 市	令和.	4年度中	に寄せられた	こ市民・議会	等の意	見、市民	・サー	ビス利用	用者等の	実態やる	その意識に	ついて		
市民等の意見	• 減	体組成分計測器で自分の筋肉量などわかるので、運動しようと思った。筋肉量を増やそうと思った。 減量しようと思った。 食事に気をつけょうと思った												

	市民協働の取組		法:⑥、⑦									
5	☑ 取り組んだ		手法の種類] ・ ②宝行委員会・協!	盖会 (1	③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成							
市	□ 取り組まない		提供・情報交換(広幸									
民協	令和5年度に向け、さ	らに適した	に協働の形態とするた	めに	「考え」「気付いた」点							
働	特になし											
	(1)効果指標(評価の社	 視点:この1	 年間、事務事業を行っ <i> </i>	こことに	こよる効果の変動はどうだったか)							
	□ 向上 説明:*	令和4年度	は、保健師が定員7名	るに対し	して4名しか確保できなかったため、日数を縮小したことに							
					になった。しかし、減計測、医師の講話、運動実技、保健 からのアプローチで、市民の健康意識を高めることができた。							
		維持とする										
		の担占・中に	なちけな どち目 古し ア	古光帯								
		の祝点・美』 	他月法なこを見直して、	尹未复"	2人件負を舶減することが、くさたが、							
6			それぞれ4日間コース	開催予	定だったが、後期は従事する職員の不足で3日コースに							
	□ 低下											
分析	(3)指標の達成状況	の評価										
•	(2) 費用対効	果	成果ランク	成	A: 効果指標・費用対効果が共に向上							
評価	(1) 向上 約	推持 低下	(評価)	果	B: 効果指標が向上・費用対効果が維持							
	効 向上 A	вр		ラン								
	果無	E G	F	ク	┣━━ D: 効果指標が向上・費用対効果が低下							
	指 維持 C E G											
	明 F: 効果指標が低下・費用対効果が向上											
	※ (1)の効果指標と(2)の書田対	が単が交わった	と 方	G: 効果指標が維持・費用対効果が低下 ※							
	ところが、G、Hのと	きは、縮り	い・休止を含めた	白	H: 効果指標が低下・費用対効果が維持 ※							
	要改革を検討し、 の)とさは廃1	Lを検討9る。	性	: 効果指標・費用対効果が共に低下 ※							
	(4)効率性評価(さら		 果の向上を図るためにて	きるこ	とは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)							
	□ 見直す余地がある		説明:	- \=								
	 ☑ 見直す余地はない		市民の健康増進に医問	1、連動	動指導士、保健師、歯科衛生士、栄養の事業が必要。							
	(5)休止・廃止した	 場合の影響		本計画	の施策を実現するための手段として考える。)							
		说明:										
	- パン 市 小さい	i民の健康が	曽進維持に必要な機会	が失わ	れる。							
	□ 不可能											
		題とした[単施した								
7	参加者数が1日目	の計測日月	 以降に尻つぼみにな									
課	・ 若年層の参加が少	ない。										
	(2)(1)の課題解決(に向けた耳	収組や事務改善など、	、令和]4年度に実施したこと							
超	・SNSを使って事業案内した。・保育付き事業にして若年層の参加を促した。											
	(3)(2)を踏まえた台		夏(仕事の最適化・合理(との提案	2)							
8					~							
今後	・周知方法の工夫。 ・若年層の興味のある	5るテーマ	作り。									
の 方	(1)今後の取組(「6	3分析•評価	i 及び 7課題」を踏る	まえた具	具体的な改革・改善案など)							
向性	SNSの活用。保育付き事業											

「令和4年度に実施した仕事」の振返りシート(B: 裁量無・その他)

事業名称

基本施策

施

本 情

報

業

概

的

動

実

経

曹

4

課

5

 \mathcal{O}

方 向

性

成人保健事業費

策

展開方向 2

事業種別

予算科目

開始年度

実施の根拠 (法令 • 要綱等)

事業概要

成人市民

財 3

源

ん検診を実施する。

一般財源

特定財源

事業費+人件費

事業のコスト(実績)

事業費(実績)

所要人数(再任用以外)

職員人件費(再任用以外)

所要人数 (再任用)

職員人件費(再任用)

精度管理に努める必要がある。

(国・都・他)

(うち受益者負担)

施策2

| |

V

会 計

いる。

対象:誰を、何を対象としているか

法定受託事務

年度

課内庶務等

記入日 令和5年4月4日 担当部署 健幸いきいき部 保健係 部 係 課 健康推進課課長名 幸村 有紀 〔健康診査事業(胃がん等検診事業)〕 総合計画(輝きプラン)における位置づけ 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり 65 ページ 第五次基本計画 1 保健、医療 複数施策 あり 該当 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進 重要施策 1 まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり ペーミ 実施計画 該当 □ 市の実施が義務付けられているもの(上乗せなし) □ 休止したもの □ 廃止したもの 款 一般会計 4 項 1 事業番号 4 1 行政報告書 ☑ 不詳 304 ページ 新規・継続 継続 胃がん等の早期発見を目的として、胃がん検診を実施。精密検査対象者には、受診状況の確認等実施して 実施ている検診:若年層検診、無保険者検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう検診、成人歯科検診、胃が ん検診、子宮頸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診 目的:対象をどのような状態にしたいのか がん等を早期に発見し、市民の健康保持増進を図る。 活動内容:どのような手段で行ったのか 実績:事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか 市報やHPで周知し申し込みを受ける。委託医療機関で胃が 検診を受診することにより、自分の健康への関心が向上す る。検診時点でのがん等の有無がわかった。 令和3年度 令和4年度 単位 令和2年度 円 33,206,147 45,246,289 42,070,042 円 28,263,038 39,953,289 35,427,684 円 4,943,109 5,293,000 6,642,358 円 人 0.1 0.1 0.1 人 円 838,000 825,000 816,000 円 円 34,044,147 46.071,289 42,886,042 (1)令和4年度に課題とした内容(「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート 4課題を転記) コロナ禍の影響もあり、受診控え後の「久しぶり受診」が懸念される。受診したい人の申請の機会を確保するとともに、

(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと 検診の周知の継続。精度管理に努めた。 題 (3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)※廃止したものを除く 引き続き、検診の周知と精度管理に努める。 (1)仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く 検診対象者が受診の機会が得られるように、また、検診の精度を維持できるように取り組む 後 (2)上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く 技術的指針に基づいて、精度管理に努める。検診指針外について、医師会や上層部との検討が必要。 「令和4年度に実施した仕事」の振返りシート(A: 裁量有)

記入日 令和5年4月 7日

	事業	名称				担当部署										
	栄養	指導事	業費			部		健	幸いきい	いき部	係			保健係		
	〔健	康教育	事業、栄養	養相談事業	等〕	課			健康护	進課	課長名		幸村	有紀		
	総合	計画(輝きプラ	ン)におけ	る位	置づけ	•									
	基本	施策	1 子ど	もたちの領	き顔が	あふれる	るまち	5づく!)		第五次基	本計画	51	ページ		
1	基本	施策	2 健康	であたたた), () 小()	のかよい	ハあう	まちこ	づくり		第五次基	本計画	65	ページ		
	施	策	施策1	– 1	重要 施策	施策	2	_	1	重要 施策	複数	施策	>	あり		
基本は		1	☑ 安心	して子どもを	生み育	てること	ができ	る環境で	づくり		重要	施策	>	該当		
情報	展開	方向 2	✓ 子ど:	もたちの成長	と発達	を支援す	る環境	づくり			まち・ひと・ 総合戦略アク:			ページ		
		3	☑ 市民(の自主的・自	発的な	健康づく	りの促	進			実施	計画		該当		
	事業	種別	□ 市単	独	補助	対象		市の実	施が義	務付けら	られているもの(上乗せる	あり)		
	予算	科目	会 計	一般会	計	款	4	項	1		1	事業額	番号	5		
	開始	年度	平成	9 年度			不詳	行政	報告書	320	ページ	新規・	継続	継続		
	実施 <i>0</i> ^{法令・}	D根拠 要綱等)	東大和市	母子保健法院	运行細	則第3条	:の規定	Ē								
2	事業	概要	講話、調理	里の実演、個	別相	談										
由	対象	:誰を、	何を対象とし	ているか			目的:	いのか								
事業概	市内	の4か月]から11た))月の乳児と	保護	者		・乳幼児期の栄養、健康、発育発達などについての基本的な知識の習得。・育児支援・育児力の向上								
要	活動	内容:と	このような手具	没で行ったのた),			活動実	三績: 事業	を実施し	た結果「対象	」にどのよう	うな変化が	あったか		
·目的				護者が参加し てもらい固さ				相談離乳	したこと 食の進め	により 方、作り	等児に対し 0方に対し	ての不安 て知識の	解消。 習得。			
• 活			増加を目	指す指標	単位	令和	02年	 度	f	3和3年	度	令	和4年	度		
動•			年度	目標値	人			144			168			176		
実績	効は	果指標	効果:	実績値	人	118	(81.	9%)	13	4 (79	9.8%)	126 (71.6%)				
			目標値設定	定の考え方	離乳	食講習会(の対象	者枠に	対して8	30%以	上の参加	を目指す				
	事業	のコス	ト(実績)	単位	令和	02年	 度	Ť	5和3年	F度	令	和4年	度		
		事業	· 養費(実績	()	円		399	9,985		2	99,718		2	19,741		
	_	一般財源	 系		円		213	3,985		1	35,718		1	10,741		
3	財源	特定財源	(国	•都•他)	円		180	6,000		1	64,000		10	9,000		
	////\		(うち受益	者負担)	田											
経	人	所要人数(再仟用以外) 人			人			0.1			0.1			0.1		
費	件費	所要人数(再任用)			人											
	(日	職員人作	職員人件費(再任用以外) 円				83	3,000		8.	25,000		8	16,000		
	安	職員人作	‡費(再任用	目)	円											
事業費+人件費 円 1,237,985 1,124,718						24,718		1,03	5,741							
4	令和4	4年度中	に寄せられ	た市民・議会	等の意	見、市民	・サー	·ビス利	用者等の	実態やる	その意識に	ついて				
市民等の意見	• 実 沙	寅がみれ	・不安な事、分からない事を聞いてもらってよかった。安心した。・実演がみれて、やわらかさなどわかり参考になった。・写真や動画等よりわかりやすい。													

	市民協働の取組	取組手法:⑥、⑦										
5	①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成											
市	□ 取り組まない	①共催 ②実行委員会・協議 ⑥情報提供・情報交換(広報)										
民協	令和5年度に向け、さら		さめに 「考え」「気付いた」点									
働	#± <i>Iーナ</i> 。」											
	特になし											
		: この1年間、事務事業を行った	たことによる効果の変動はどうだったか)									
	□ 向上 説明: 目標値には	「達しなかったが、例年とほほ	ぼ同等の効果を得られたため、維持とした。									
	□ 低下											
		!点:実施方法などを見直して、	事業費や人件費を縮減することができたか)									
	□ 向上 説明: 事業の目的	」、効果を維持するには現状 <i>の</i>										
6												
	□ 低下											
分 析	(3)指標の達成状況の記	评価										
• 評	(2) 費用対効果	成果ランク	成 A:効果指標・費用対効果が共に向上									
価	(1) 向上 維持 低下 (評 価) 果 B:効果指標が向上・費用対効果が維持 5 0.1 対果状態を必然を見る。											
	効 ^{同上} A B D											
	果指 A C E G D: 効果指標が向上・費用対効果が低下											
	指											
			明 F:効果指標が低下・費用対効果が向上									
	※ C C C C C C C C C											
	ところが、G、Hのときは 要改革を検討し、I のと		向 H:効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ 性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
			□ □ □ : 効果指標・費用対効果が共に低下 ※									
	(4)効率性評価(さらに動	I=V=0	できることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)									
	見直す余地がある	説明: 従事する職員及び経費	費を必要最小限にしているため。									
	☑ 見直す余地はない											
			基本計画の施策を実現するための手段として考える。)									
		て家庭に離乳食に関する教育	参加の機会創出に影響があることから、子どもたちの成長と発達									
	□ 小さい を支持	援する環境づくりに寄与でき	なくなるため。									
	一不可能											
	(1)令和4年度に課題の	とした内容(「令和3年度に実	実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)									
7	事業の中止などを踏ま											
課	・ 令和2年度に作成した闘	推乳食作りに関する動画を公: 	式YouTubeに掲載したがアクセス状況をみて今後作成等検討。									
	(2)(1)の課題解決に向	引けた取組や事務改善など、	、令和4年度に実施したこと									
題	- ・令和4年度は事業を「	— 中止せず実施した。・随時	#栄養相談を受け付けしていることをアナウンスした。									
	・事業で使用する冊子に動画のQRコードを掲載した。											
8	(3)(2)を踏まえた今後	台の課題(仕事の最適化・合理化	比の提案)									
		 はいつから実施できるか検討	する。(実際作って、味を確認してみたいという意見も一部あ									
今 後	今 る) 後 ・事業における定員数の増加について検討する。											
の 方	(1)今後の取組(「6分	析・評価 及び 7課題」を踏る	まえた具体的な改革・改善案など)									
力向性												

「令和4年度に実施した仕事」の振返りシート(A: 裁量有)

記入日 令和5年 4月1日

	事業	名称			担当部署									
	栄養	指導事業	 養		部	健	幸いき	いき部		係	保健化	系		
	[快腸	易プロジ	ェクト事業]		——— 課	健	康推進	 課		課長名	幸村	有紀		
	総合	計画(輝きプラン)に	おける位	<u></u>									
1	基本	施策	2 健康であた	たかい心	いのかよい	ハあこ	うまちつ	づくり		第五次基	本計画	65	ページ	
	施		施策2 —	1	 保健 、 [医療				複数	 施策		あり	
基本		1	市民の自主	的・自発的	内な健康に	づくり	の促進			重要	 施策	[\forall]	該当	
本情	展開	方向 2	☑ 病気の予防	及び早期剤	発見・早期	明治療	のための	の環境に	づくり	まち・ひと・ 総合戦略アク:			ページ	
報		3	☑ 地域の医療	体制の確保	 呆					実施	計画		該当	
	事業	種別	□ 市単独	☑ 補助	対象] 市の実	施が義	務付け	られている	るもの (.	上乗せ	あり)	
	予算	科目	会計 一	般会計	款	4	項	1	B	1	事業	番号	5	
	開始	年度	平成 30	———— 年度		不詳	行政	報告書	320	ページ	新規•	継続	継続	
		D根拠 要綱等)	健幸都市の実現に	句けた東大	和市健康表	宇命延伸	申取組方							
2	事業	概要	生活習慣病への危がいう手法を取り入ればなよりよい健康	つ、腸内環	境改善の』	Eしいタ	記識の啓	発や、日	常生活	の中で継続				
=	対象	:誰を、	何を対象としているだ),			目的:	対象をど	のような	状態にした	いのか			
事業	市民						腸内環	境改善を	通して、	・市民の健	康寿命を	延伸する	3	
概要	活動	内容:と	ごのような手段で行っ	たのか			活動実績:事業を実施した結果「対象」にどのような変化があった。							
・目的・活動	協定を選ります。 単元 は できる は できる は できる できる は できる できる できる できる できる できる できる できる いっぱい は いっぱい はい はいまままままままままままままままままままままままままままままままま	を締結し、 ビングラボ 遣の計測な イルラボを	ビジョン研究センタ・ 産官学民連携の健康 の手法を用いて腸内 、腸内環境改善講座 実施。 腸内環境と東大和ラー	づくりについ 環境改善をデ を組み合わせ	Nての検討。 -ーマに野菜 せた東大和ラ	英摂取 5イフ	東大和ライフスタイルラボや講演会の実施によ 腸内環境改善を含んだライフスタイルを検討、							
•			増加を目指す指	<mark>標</mark> 単位	令和	112年	度	f	3和3年	度	숚	和4年	度	
実績	动与	果指標	年度目標値	人			-			76		33		
	<i>N</i> J/	V101X	効果実績値	人			76			33		87		
			目標値設定の考え	方東	大和ライ	フス	タイル・	ラボ延ん	で参加	者を前年	度実績」	以上と	する。	
	事業	のコス	ト(実績)	単位	令和	02年	度	f	3和3年	‡度	슈	和4年	度	
			養(実績)	円		1,76	9,540		1,0	91,109		1,1	38,454	
	財	一般財源		円		4.70	0		4.0	0			0	
3	源	特定財源		, , ,		1,76	9,540		1,0	91,109		1,1	38,454	
経		ue eer 1 *	(うち受益者負担) 故(再任用以外)				1.0			1.0			1.0	
費	人件						1.0			1.0			1.0	
_	費					8.38	0,000		8.2	50,000		8.1	60,000	
	目安)		‡費(再任用)	円		<u> </u>	3,000		0,2	33,333			00,000	
	事業	費+人作		円	1	0,14	9,540		9,3	41,109		9,2	98,454	
			に寄せられた市民・	議会等の意	意見、市民	;・サ-	・ビス利用	用者等の	実態やる	その意識に	ついて			
・参加者との会話の中から初めて知ることが多く良い機会となった ・早速活用できる知識を学ぶことができて有意義な時間でした ・色々な考え方を持つ人達と意見交換が出来貴重な体験をすることができた ・なんとなく知っていてなんとなく実践していた食物繊維を取り入れる食生活でしたがワークを通して発見があったり自分もやってようという気持ちになった ・皆様の取り組みや食事の悩みなど、話していて沢山の気づきや共感があった ・買い方について表示の見方などすごく参考になりよかった						らやってみ								

	市民協働の取組 取組手法:③、⑥
5	☑ 取り組んだ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
市民	取り組まない 取り組まない じっぱい では、
協働	- 令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点
	市民の声を聴き、市民自らが改善、継続していけるような健康の取組が必要。
	(1)効果指標(評価の視点:この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)
	☑ 向上 説明: 令和3年度までは子育て世代を対象としていたが、令和4年度は高齢者も対象とし、幅広い世代への効果
	□ 維持 があった。
	□ 低下
	(2)費用対効果(評価の視点:実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)
	▽ 向上 説明: 高齢者を対象にすることにより、子育て世代の保育が不要となったことから、保育士の人件費削減となっ
6	□ 維持 た。
	□ 低下
分析	(3)指標の達成状況の評価
· •	(2) 費用対効果 成果ランク 成 A:効果指標・費用対効果が共に向上
価	(1) 向上 維持 低下 (評 価) 果 B:効果指標が向上・費用対効果が維持
	効 向上 A B D ン C: 効果指標が維持・費用対効果が向上
	果 #持 C F G△ D: 効果指標が向上・費用対効果が低下
	7
	明 と F:効果指標が低下・費用対効果が向上
	(1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わった 方 G:効果指標が維持・費用対効果が低下 ※
	ところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた
	I:効果指標・費用対効果が共に低下 ※
	(4)効率性評価(さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)
	✓ 見直す余地がある○ 見直す余地はない○ 見直す余地はない○ 見直す余地はない○ 説明: 広報・啓発について、関係機関の広報媒体も活用することにより、費用対効果の向上を 図ることが見込まれる。
	(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点:第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)
	☑ 大きい 説明: この事業は施策の展開方向である「市民の自主的・自発的な健康づくりの促進」に寄与する事業で
	□ 小さい ある。より多くの市民が参加できる環境、体制をつくることで、自主的・自発的な健康づくりの促進を推進することができるため、業務の改善に積極的に取り組む必要がある。
	正 不可能 になればすることができるため、業務の以音に模型的に取り組む必要がある。
	(1)令和4年度に課題とした内容(「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート7課題(3)を転記)
	コロナ禍において安全安心な運営に努めて行くと共に、引き続き状況に応じて規模拡大を目指していく。また今後はシ ニア層もターゲットにすることも検討して行く。
7	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと
課題	コロナ禍であっても感染対策を徹底し、定期的にワークショップを開催した。令和4年度後期は高齢者を対象とし、幅 広い世代へ規模拡大を図ることができた。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)
	対象者の拡大により幅広い世代へのアプローチが可能となったが、ワークショップの参加人数が限られるため、参加者 数の拡大について検討が必要である。
8	(1)今後の取組(「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)
方向	
性	今後規模拡大のためにワークショップ以外の開催方法などを関係機関と共に検討していく必要がある。